

青天白雲塾

「青天白雲塾」の対象および目的

- ◆ **対象** 大手企業 経営幹部を嘱望されているミドルマネジメント層のみなさま
- ◆ **目的**
 - AIが人間の知能を追い越し、あらゆる分野において人間を凌駕するという人もいる
そういった時代に、我々の生き方や仕事のあり方はどう変わっていくべきか？
 - 講義前半は「人間とは何か？AIとは何か？その差分はどこにあるのか？」というファンダメンタルなテーマを学びます
 - 後半は「AI時代に問われる、倫理・人事制度・企業理念とは？」といった身近な経営テーマを中心に据えます
 - 本講座の狙いは、自己啓発的な通り一遍の知識・教養を与えることが狙いではなく、人間とは何か？といった根源的な問いに果敢に挑みつつ、企業人としてより高い視座でものごとを語れる場を提供することにあります

2025年度 募集概要

研修期間	2025年6月～12月のうち、約7か月 (講座日数10日程度 / 基本的に平日の10時から17時)
受講対象	大手企業 経営幹部を嘱望されているミドルマネジメント層のみなさま 各社4名以上～8名以内。定員は40名程度
申込受付期間	第一次募集締め切り…2025年2月末日 第二次募集締め切り…2025年3月末日
お問い合わせ先	office@fushikian.jp 電話：03-3292-0320 「青天白雲塾」担当

青天白雲塾の3つの特徴

1 リベラルアーツを通し、AI時代の経営テーマを議論する

リベラルアーツ “人間とAI”

AI時代の経営テーマ

歴史

文明論

西洋哲学

脳科学

認知科学

企業理念

企業倫理

コンプラ

人事制度

デジタル化

ミドルの関心
を徹底討論



2 講座当日の振り返りを強化

- ゲスト講師による講義終了後、毎回、塾長・受講者による「振り返り」討議を実施し、プログラム習得度を高める

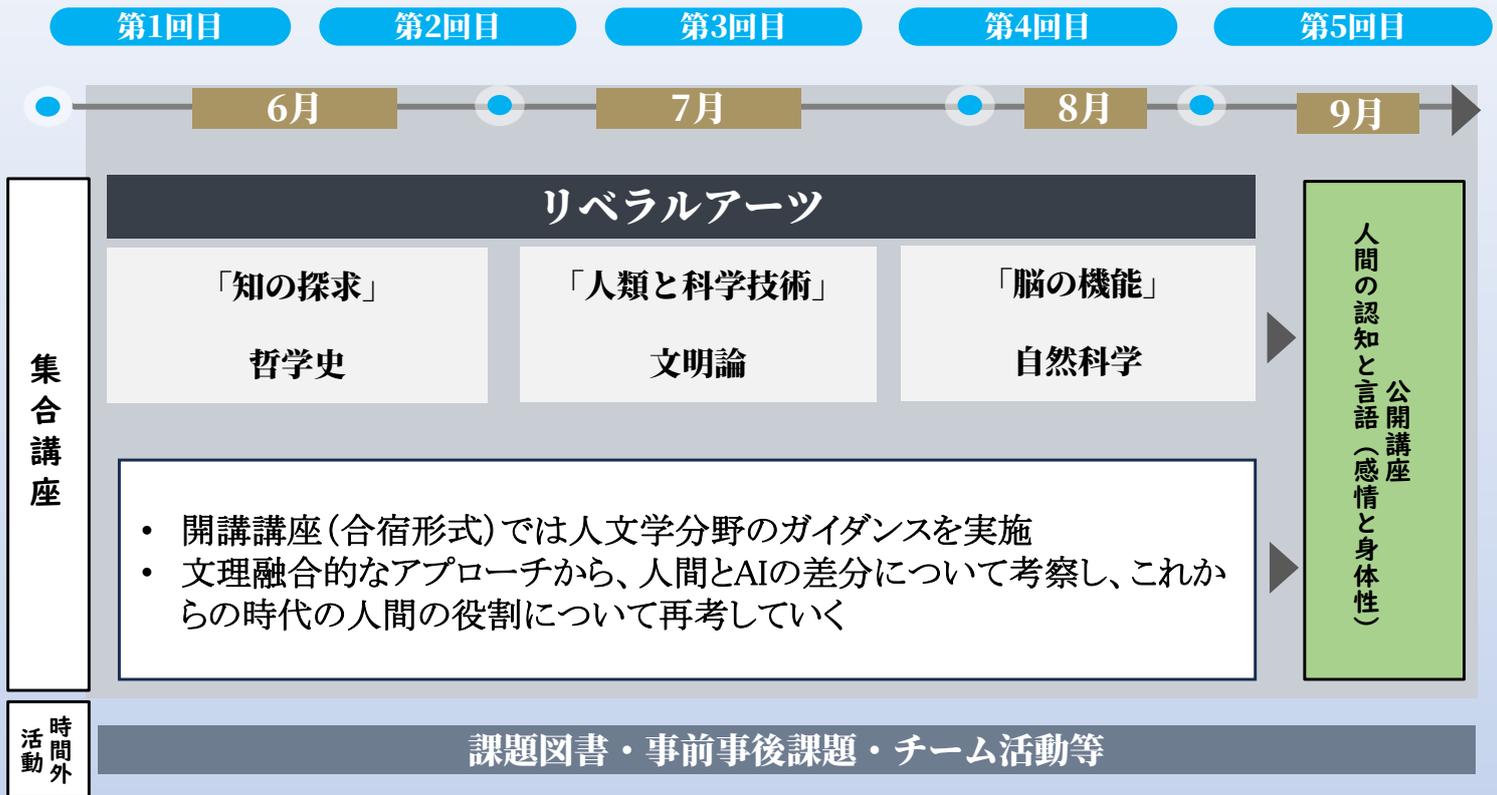


3 受講者レビューの個別フォロー

- 疑問や意見に対し、メール等により適宜フォローを行う
- 最終発表向けゼミで足りない場合は、個人別サポートも実施



第一部構成・スケジュール



第一部「人間とAIの差分はどこにあるのか？」の狙い

文理融合のリベラルアーツ

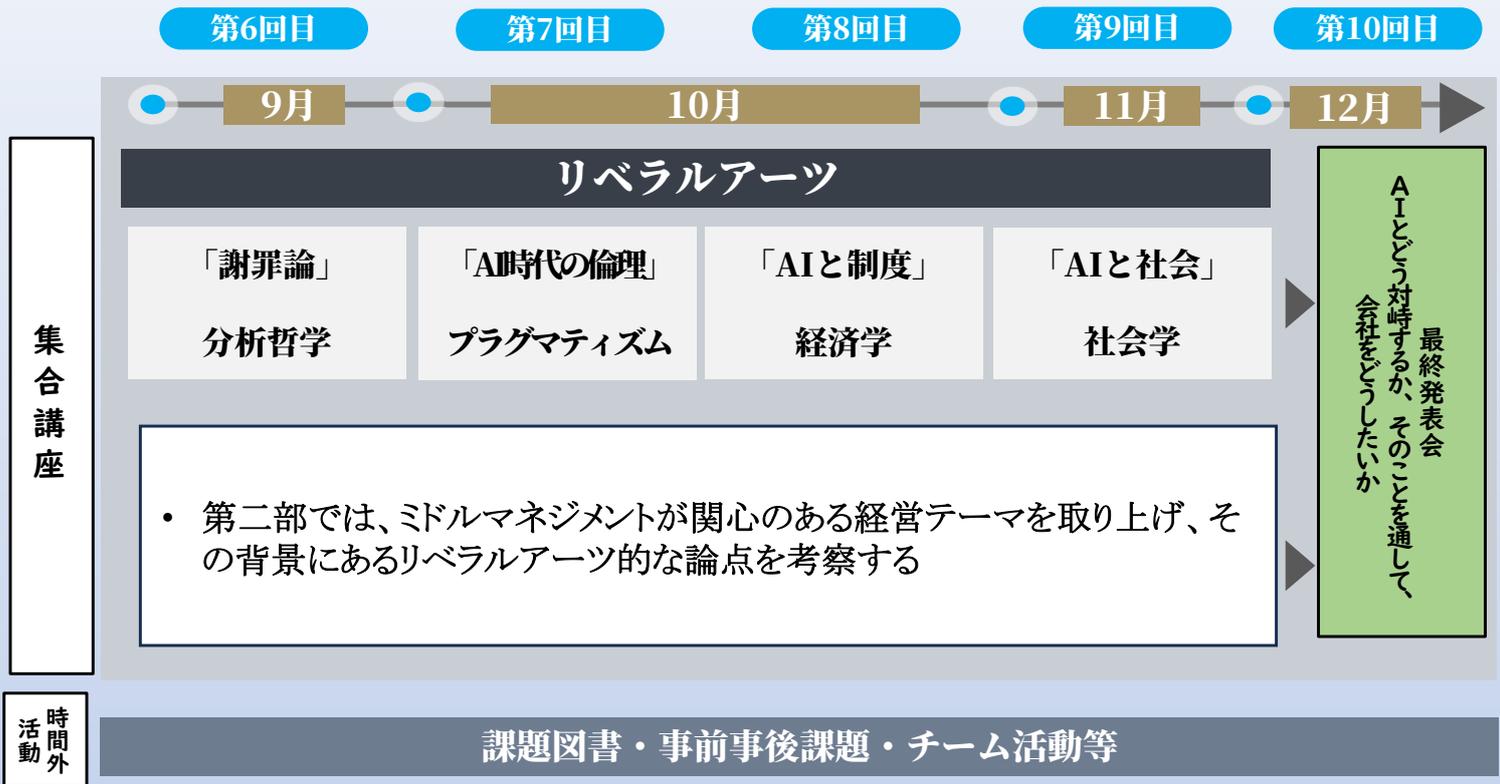
- 歴史・哲学、文明論などなどの人文学分野から、これまで人類が織りなしてきた思想や技術の歴史を振り返る
- 次に、脳科学や認知科学などの理系的なアプローチから、AIと人間の共通点や差分を考察することで、人間についての重層的な理解を深める



AI時代に、人間の役割を再考する

- 現在、企業各社はAIに乗り遅れないことを喫緊の経営課題としている
- しかし、AIが広く流通し定着すれば、企業の競争優位性は、AIそのものではなく、それを扱う人間側に戻ってくる可能性が高い。AI時代に、人間にしかできないことを再定義し、デジタル社会を生き抜く知恵が求められている

第二部構成・スケジュール



第二部 リベラルアーツ×AI時代の経営テーマ

謝罪と コンプライアンス	(リベラルアーツ・テーマ) “謝罪”という言葉进行分析することで、言葉とは何か?という深淵なテーマを学ぶ (経営テーマ) ”謝罪“から、現代の企業責任やコンプライアンスのあり方について議論する
AI時代の企業倫理	(リベラルアーツ・テーマ) 近代に起こった残虐な歴史を反省し、対話を続ける重要性を学ぶ (経営テーマ) SNSなど情報が溢れる時代に“企業倫理”のあり方について議論する
ジョブ型時代の 最適キャリア制度	(リベラルアーツ・テーマ) 最適な組み合わせで企業価値を高めるマッチングのメカニズムについて学ぶ (経営テーマ) ジョブ型雇用が増える中、最適なキャリア制度について議論する
企業理念を アップデートする	(リベラルアーツ・テーマ) 言語とは常に生成変化するもので、常にアップデートが重要なことを学ぶ (経営テーマ) 企業理念を正しくアップデートし、若い世代にどう伝えていくのか?を議論する